

水温は表層で「平年並」、下層で「やや低め～平年並」で推移
(令和2年8月の海況と今後の予測)

令和2年8月14日
茨城県水産試験場

1 海洋観測結果 (8/5～6, 8/7: 調査船「いばらき丸」)

- 水温の平面図を図2, 4～6に, 鉛直水温図を図3に示しました。
- 荒天の影響により会瀬・大洗定線の142° Eの地点と操業船回避のため犬吠埼定線の141° Eの地点が欠測となりました。
- 水温は0m深で21～28℃台, 50m深で9～24℃台, 100m深で8～20℃台, 200m深で4～16℃台で, 北部の200m深では冷水が見られました(図2)。
- 前月と比較すると, 0m深は気温の上昇に伴い全域で升温しました。一方で, 50～100m深の北部沖合では降温した地点がみられました。200m深では冷水の南下により北部を中心に降温しました(図3, 4)。
- 平年と比較すると, 南部沖合を除く広い範囲で「やや低め～平年並」、大洗定線の一部で「低め」となりました。南部沖合は「やや高め～極めて高め」となりました。(図5)。
- 0m深では降雨による影響, 200m深では冷水の南下による影響と考えられる低塩分水が見られました(図6)。
- 大洗～犬吠埼定線の141° 15' E以東で出真潮が, 会瀬定線の広い範囲と大洗～鹿島定線の141° Eを中心に逆潮が観測されました。

2 本県周辺海面水温の現況 (図1)

- 顕著な暖水波及はなく, 本県海域は23～27℃となっています。
- 本県周辺海面は南部沖合を除いて低塩分水に覆われています。

3 今後1か月の見通し

- 200m深の冷水は今後も残る見込みです。
- 沿岸では南風の影響により湧昇が発生し, 水温が下がる可能性があります。
- 1か月後の水温は, 表層で「平年並」、下層で「やや低め～平年並」となるでしょう。

(参考) 9月の0m水温(東経142度まで)の30年平均(1981-2010)
会瀬: 22～24℃台 大洗: 22～24℃台 鹿島: 23～25℃台 犬吠埼: 24～26℃台
詳しい情報は茨城県水産試験場ホームページをご覧ください。

(回遊性資源部 大森 健策)

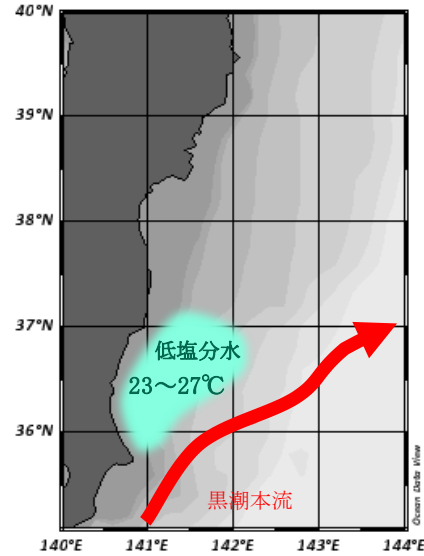
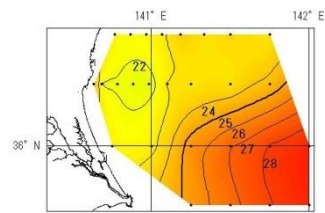
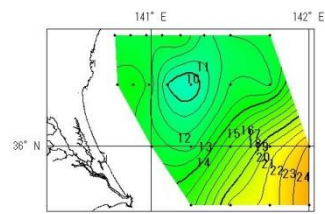


図1. 海面水温の現況
(8月11日)

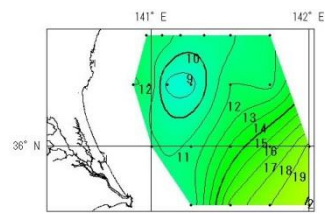
※水温は平年値と比較して,
±1.5℃が「平年並み」、
±1.6～3.9℃が「やや高め・やや低め」、
±4.0～6.0℃が「高め・低め」、
±6.1℃以上が「極めて高め・極めて低め」



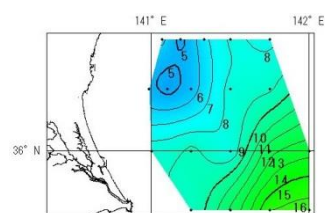
水深0m



50m

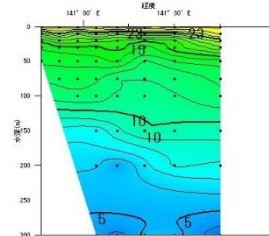


100m

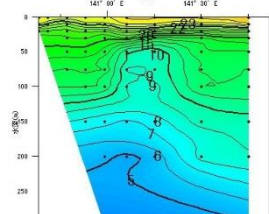


200m

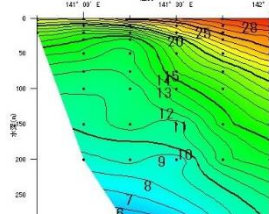
図2. 層別水温



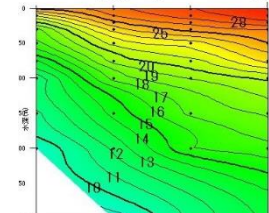
会瀬



大洗

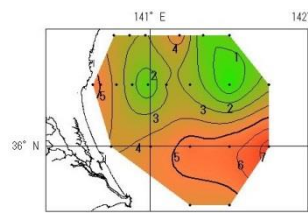


鹿島

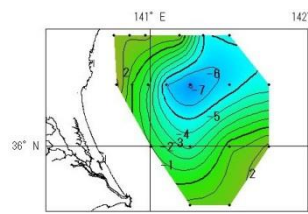


犬吠埼

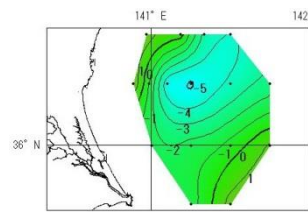
図3. 鉛直水温



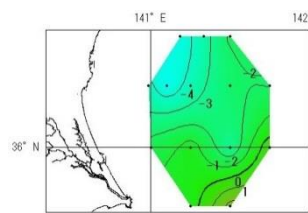
水深0m



50m

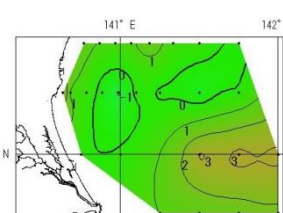


100m

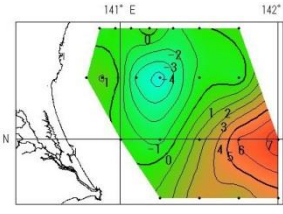


200m

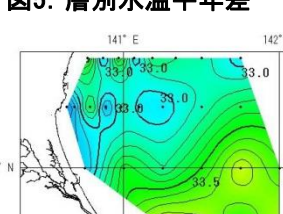
図4. 層別水温前月差



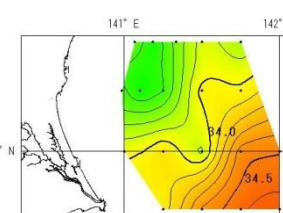
水深0m



50m



0m



200m

図5. 層別水温平年差

図6. 層別塩分